

平成28年2月24日 兵庫県統計課

県基幹統計調査の指定及び匿名データの作成について

県統計調査に係る標記のことについて、所管課の実施状況と意見聴取を踏まえ、下記のとおり報告します。

記

1 県基幹統計調査の指定(統計調査条例第3条)について

(指定の概要)

調査の結果数値が、行政の意思決定や県民の権利義務(例:給付額の決定等)に直接影響を及ぼすような重要な県統計調査については、所要の結果精度確保のため、統計調査条例(以下「条例」という。)の規定に基づき、県統計委員会の意見を聴いた上で、調査客体に報告義務(違反した場合の罰則規定もあり。)を課する「県基幹統計調査」に指定することができる。

平成28年度に実施を予定している県統計調査について、調査実績がある統計調査は、結果用途、調査票の回収率・記入内容、所管課の意見を、また、新規で実施する統計調査は、結果用途、所管課の意見を踏まえて判断した結果、県基幹統計調査の指定を要しないと考えられる。

2 調査票情報に係る「匿名データ」の作成と外部提供について(条例第12条、第13条)

(作成・提供の概要)

知事等は、その行った県統計調査の調査票情報を加工して、匿名データを作成することができる。このうち、県基幹統計調査に係る匿名データを作成するときは、あらかじめ、県統計委員会の意見を聴かなければならない。

また、知事等は、学術研究や高等教育の発展に資すると認められる場合には、外部からの求めに応じ、手数料を徴して匿名データを提供することができる。

平成28年度に実施を予定している県統計調査7件について、調査票情報に係る匿名データ作成の需要及び外部からの提供依頼はない。

県統計調査の平成27年度実施概要及び平成28年度実施計画について

所管課室	調査No.	統計調査の名称	調査期日・周期	実施(予定)		調査主体		調査の実施概要 (直近の実施実績を記載)	統計の利用需要等
				平成27年度	平成28年度	個人	事業者		
企画県民部 統計課	1	市町別毎月人口 推計調査	毎月1日現在	○	○	○	○	国勢調査の人口・世帯数に毎月の住民票の移動を加減して推計。 (県内全市町村からメール報告) ★回収率:100%(全市町村から回収)	公表データ以外の二次的利 用の要望はない。
	2	兵庫県商品流通 調査	平成28年12月31日 (前回24年度実施) (概ね5年周期)			○	○	「兵庫県産業連関表」作成の基礎資料を得る。 (製造業の抽出約1,200事業所を対象に郵送で調査) ★24年度回収率:342/851事業所(40.2%)	平成23年分調査票データに ついて、経済産業省から提供 申出があり、データの提供を 行った。
健康福祉部 業務課	3	血液製剤使用量 等調査	4月1日～3月31日実績を翌年度7 ～8月に実施(2年周期) ※ 毎年調査していたが、平成27 年度から隔年調査に変更(次回、 28年度に調査実施予定)		○	○	血液製剤の適正使用のため、使用状況等を把握する。 (25年度に血液製剤の取扱いがあつた一般病床を有する250 病院を対象に郵送で調査) ★26年度回収率:233/250病院(93.2%)	調査結果は、輸血医療従事 者研修会で使用。 公表データ以外の二次的利 用の要望はない。	
県土整備部 港湾課	4	兵庫県港湾調査	毎年1月1日～12月31日実績を翌 年1月に実施	○	○	○	県内港湾30港のうち、国土交通省所管の基幹統計調査「港湾 調査」の対象外2港について利用実績を把握する。 (関係事業者を対象に調査員調査を実施) ★27年度回収率:2/2者(100%)	公表データ以外の二次的利 用の要望はない。	
産業労働部 地域金融室	5	中堅・中小企業 の資金調達状況 に関する調査	毎年6月中旬～下旬の状況を7月 末に、10月中旬～下旬の状況を 11月末に調査実施	○	○	○	中堅・中小企業の資金調達状況を把握し、今後の施策展開に 活用する。(県下に事業所を置く中堅・中小企業を対象(約340 社を抽出)に業況及び金融機関の貸出姿勢等について郵送で 調査) ★27年度回収率 前期(7月)231/342社(67.5%) 後期(11月)214/344社(62.2%)	公表データ以外の二次的利 用の要望はない。	
健康福祉部 健康増進課	6	ひょうご食生活実 態調査	平成28年11月(予定)		○	○	健康づくりや食育推進に関する施策展開に活用するため、栄 養摂取状況調査(食物の摂取量)及び食生活・生活習慣状況調 査(食生活に関する知識、態度等)を調査する。(1,750世帯約4 千人(無作為抽出)を対象に調査員調査を実施)	-	
健康福祉部 医療課	7	医療施設実態調 査	平成29年3月(予定)		○	○	医療従事者、医療連携、診療内容、医療機器利用状況等を調 査し、保健医療計画策定に当たった際の圏域設定及び55疾病の医 療機能の根拠となる圏域別医療資源を把握する。(県内の全病 院(約360院)を対象に郵送で調査)	-	
	8	入院患者調査	平成29年3月(予定)		○	○	患者の居住市町、性別、年齢、病名、病床種別等を調査し、保 健医療計画策定に当たった際の圏域及び基準病床設定の根拠と なる患者の受療動向を把握する。(県内の全病院及び有末診療 所(約650院(所))を対象に郵送で調査)	-	

平成28年2月1日現在

県統計調査の実施状況及び「県基幹統計調査への指定、匿名データの作成・提供」に係るアンケート結果

所管課室	統計調査の名称	1 市町別毎月人口推計調査	2 兵庫県商品流通調査	3 血液製剤使用量等調査	4 兵庫県港湾調査	5 中堅・中小企業の資金調達状況に関する調査
第1 調査の実施概要		県・市町の毎月の人口移動状況を把握し、諸施策の基礎資料を得る	「兵庫県産業連関表」作成の基礎資料を得る	医療機関における血液製剤適正使用に関する法律の指針とする	港湾の開発・利用及び管理に資するため、県内における港湾の実態を明らかにする	中堅・中小企業の資金調達状況を把握し、今後の施策展開に活用する
1 実施目的		市町別毎月人口推計調査実施要領	製造業1,300事業所(有意抽出)	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律		
2 相対法令等		市町の住民基本台帳の移動状況	12月31日現在を翌年調査 前回:平成24年実施(概ね5年周期)	血液製剤の使用があった一般病床を有する病院(約250施設)		
3 調査客体		毎月1日現在	①製造品の生産高、自家消費高、受入高、出荷高、在庫の増減 ②製造品の最終消費地域別出荷内訳	4月1日～3月31日実績を翌年度7～8月実施(2年周期)	毎年1月1日～12月31日実績を翌年1月実施	県下に事業所を置く中堅・中小企業265社(有意抽出)
4 調査期日・周期		①男女別の転入・転出者数、出生・死亡者数 ②世帯の増減数	県一事業所	①輸血療法委員会・輸血専門の設置の有無 ②血液製剤の使用量・陸薬量等	入港船舶、船舶乗降人員、海上出入貨物	業種、資本金額、1年前と比べた売上高、利益率
5 主要調査事項		県一市町	県一事業所	県一病院	県一報告者	県一報告者
6 調査系統		・オンラインで報告	・郵送で配布、回収	・郵送で配布、回収	・郵送で配布、回収	・郵送で配布、回収
7 調査方法		・報道発表	・加工統計「兵庫県産業連関表」として公表	・県HP掲載	・県HP掲載	・県HP掲載
8 結果公表		・県HP掲載		・研修会(病院、日赤等)で結果還元		
第2 統計調査の実施状況						
1 調査への協力依頼上の課題		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
2 調査票の回収	回収状況	平成27年度 全市町から回収(100%)	平成24年度 342/851事業所(40.2%)	平成26年度 233/250施設(93.2%)	平成27年度 2/2者(100%)	平成27年度 前期231/342社(67.5%)、後期214/344社(62.2%)
3 記入状況	問題点	特になし	当初設定の回答期限後に何度も督促	特になし	問題なし	特になし
4 その他の実施上の課題		全項目記入	特になし	特になし	問題なし	特になし
第3 県基幹統計調査への指定		③	③	③	③	③
《選択肢》						
①調査結果の正確性確保のため、指定を受けた方がよい						
②指定を受けることの可否も含めて検討中						
③調査結果の正確性は、現在確保されており、指定は考えていない						
④指定については、どちらともいえない						
第4 集計結果の利用						
利用者の範囲・用途	(1)部局内での利用 (2)部局以外の庁内・庁外での利用	行政諸施策、計画策定・改定の基礎資料 企業・団体の経営上の基礎資料	「兵庫県産業連関表」を作成する基礎資料	血液製剤の適正使用に関する基礎資料 病院での血液製剤の適正使用の参考資料	「兵庫県港湾統計年報」の作成	施策立案のための基礎資料
公表された集計結果以外のものに対する二一又(具体的な照会)の有無		年齢別人口のデータ ⇒(作成していない)	【なし】	【なし】	【なし】	【なし】
第5 匿名データの作成・提供						
●匿名データの庁内での利用	《選択肢》	③	③	③	③	③
①匿名データを作成・提供している						
②匿名データを作成・提供する予定がある又は作成したい						
③匿名データを作成する必要性は現在ない						
●匿名データの外部提供	《選択肢》	③	③	③	③	③
①外部利用者からの要望があり、検討したい						
②外部利用者から要望があれば、匿名データ提供でなく、委託で集計を作成したい						
③外部利用者からの要望は、現在ない						

(別紙2)

所管課室	健康増進課	医療課	保健課
統計調査の名称	6 ひょうご食生活実態調査	7 医療施設実態調査	8 入院患者調査
第1 調査の実施概要			
1 実施目的	健康づくりや食生活推進に関する施策を推進するための基礎資料とする	保健医療計画策定に当たって、医療施設及びび5疾病の医療機能の根拠となる圏域別医療資源を把握する	保健医療計画策定に当たって、圏域及びび5疾病病床数設定の根拠となる患者の受療動向を把握する
2 根拠法令等	-	-	-
3 調査客体	1歳以上の世帯員(無作為抽出) 1,750世帯約4千人	病院 約360院(全数)	病院及びび有床診療所 約650院(所)(全数)
4 調査期日・周期	平成28年11月予定	平成29年3月予定	平成29年3月予定
5 主要調査事項	①食物の摂取量(料理名、食品名等) ②食生活に関する知識、態度等	医療従事者数、医療連携状況、診療内容、医療機器利用状況等	患者の居住市町、性別、年齢、病名、病床種別等
6 調査系統	県一報告者	県一報告者	県一報告者
7 調査方法	県一(保健所設置市)一報告者 調査員調査	県一報告者 郵送で配布、回収	郵送で配布、回収
8 結果公表	県HP掲載	県HP掲載	県HP掲載
第2 統計調査の実施状況			
1 調査への協力依頼上の課題	-	-	-
2 調査票の回収	回収状況	-	-
3 記入状況	問題点	-	-
4 その他実施上の課題	-	-	-
第3 県基幹統計調査への指定 《選択肢》			
①調査結果の正確性確保のため、指定を受けた方がよい	-	-	-
②指定を受けることの可否も含めて検討中	-	-	-
③調査結果の正確性は、現在確保されており、指定は考えていない	-	-	-
④指定については、どちらともいえない	-	-	-
第4 集計結果の利用			
利用者の範囲・用途	(1)部局内での利用 (2)部局以外の行内・庁外での利用	施策立案のための基礎資料	施策立案のための基礎資料
公表された集計結果以外のものに対するニーズ(具体的な照会)の有無	-	-	-
第5 匿名データの作成・提供 《選択肢》			
●匿名データの行内での利用			
①匿名データを作成・提供している	③	③	③
②匿名データを作成・提供する予定がある又は作成したい	-	-	-
③匿名データを作成する必要性は現在ない	-	-	-
●匿名データの外部提供 《選択肢》			
①外部利用者からの要望があり、検討したい	③	③	③
②外部利用者から要望があれば、匿名データ提供でなく、委託で統計を作成したい	-	-	-
③外部利用者からの要望は、現在ない	-	-	-

統計課ホームページへの改訂について(平成28年度～)

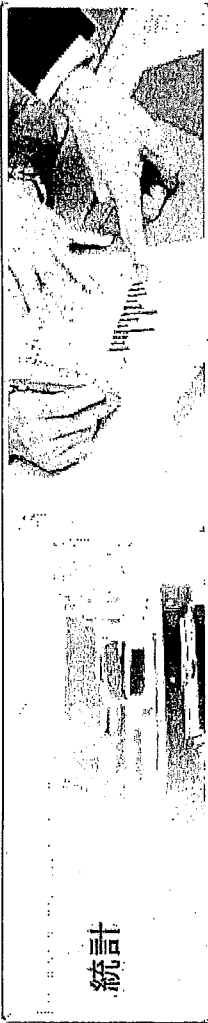
- 1 趣旨
庁内各部署が保有する統計データのうち、公開可能なものについて、平成27年6月15日から統計課ホームページで公開し、その共有化を図った。さらに平成28年度に向け掲載内容の見直し等を行い、利用者がより使いやすいものとする。
- 2 取り組み方針
(1) 平成27年6月15日から暫定的な措置として、既存の統計課ホームページ第二分類「お知らせ・総合データ」の名称を変更するとともに、公開可能な各課室統計データのリンク集の掲載を行った。
(2) 県ホームページの全面改訂年である平成28年度に向け、①統計課ホームページを俯瞰的に案内する項目の新設、②庁内各部の統計データの独立掲載、③統計課所管データの追加・統合、を行う。
- 3 統計課ホームページの改訂案
(1) 物価・家計統計に小売物価統計調査を追加するとともに、くらし統計を厚生統計に統合
(2) お知らせ・その他の統計データから県庁各部署の統計データを抜き出し、独立して掲載。また、ホームページ全般の案内をする項目を新設するとともに、記載内容を整理し、掲載場所を移動。

〈お知らせ・その他の統計データ：現行(平成27年6月15日(月)～)〉

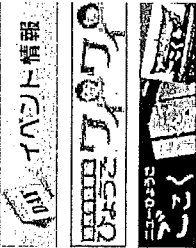
分類	名称	掲載内容
第二分類	お知らせ・その他の統計データ	-
	お知らせ	統計調査、統計資料コーナー、統計グラフィック等々の全般的なお知らせを掲載
第三分類	統計委員会	統計委員会の概要、議事録等を掲載
	刊行図書データ等	兵庫県統計協会等で編集・発行している統計刊行図書のデータを過去のものから掲載
	その他の統計データ	県庁各部署が取りまとめている各種統計データ等を掲載

〈お知らせ・その他の統計データ：改訂案(平成28年度～)〉

分類	名称	掲載内容
第二分類	お知らせ等	統計課ホームページの構成、調査項目の概要等を利用者に案内
	はじめにお読みください	発表のあった県内統計データのうち重要なものを速報として掲載(毎週月曜日更新)
第三分類	統計速報	発表のあった県内統計データのうち重要なものを速報として掲載(毎週月曜日更新)
	統計資料コーナー	本県や国、他府県、県内市町等の統計資料を所蔵・公開する統計資料コーナーを紹介
	兵庫県統計委員会	同上
	グラフィックツール、セミナー等	兵庫県統計協会の実施事業について、開催案内や実施結果等を掲載
	刊行図書データ等	兵庫県統計協会が編集・発行している刊行物と、その電子データ等を公開



統計



新着情報

- 2月10日 大型小売店販売調査の概要
- 2月9日 統計刊行物の購入方法
- 1月29日 推計人口 兵庫県
- 1月29日 神戸市の消費者物価指数(速報)
- 1月29日 完全失業率

新着情報のRSS

人口・土地統計

- 推計人口・面積
- 国勢調査
- 住宅・土地統計

農林水産統計

- 農林業センサス
- 漁業センサス

労働・賃金統計

- 毎月勤労統計調査
- 労働力調査
- 就業構造基本調査

物価・家計統計

- 消費者物価指数
- 家計調査
- 全国消費実態調査

くらし統計

- 社会生活基本調査

厚生統計

- 人口動態調査
- 医療施設調査
- 平均寿命
- 高齢化率
- 合計特殊出生率
- 医師・歯科医師・薬剤師調査
- 保健統計年報
- 社会福祉統計年報

推計情報

- 推計人口 兵庫県
- 第4半期別兵庫県内GDP速報(兵庫OE)

産業所統計

- 特定サービス産業実態調査
- 事業所・企業統計調査
- 経済センサス

商工業統計

- 大型小売店販売額
- 鉱工業指数
- 工業統計調査
- 商業統計調査

教育統計

- 学校基本調査
- 学校保健統計調査

経済統計

- 景気動向指数
- 四半期別県内GDP速報
- 県民総消費計算
- 市町民総消費計算
- 産業連関表

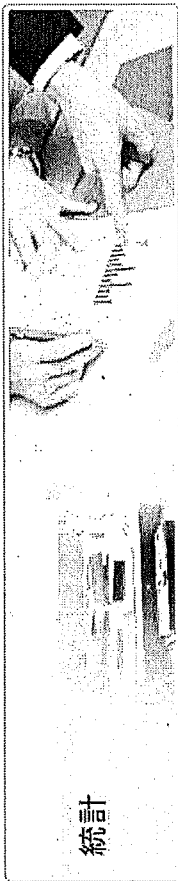
お知らせ・その他の統計データ

- お知らせ
- 統計委員会
- 刊行図書データ等
- その他の統計データ

兵庫県 (改定案)

Hyogo Prefecture

ホーム > 統計



統計

新着情報

- 2月10日 大型小売店販売調査の概要
 - 2月9日 統計刊行物の購入方法
 - 1月29日 推計人口・兵庫県
 - 1月28日 神戸市の選挙区別有権者数(速報)
- お知らせ等**

- ・はじめにお読みください
- ・統計速報
- ・統計資料コーナー
- ・兵庫県統計委員会
- ・グラフコンクール、セミナー等
- ・刊行図書データ等

注目情報

- 推計人口・兵庫県
- 四半期別兵庫県内GDP速報(兵庫OE)



人口・土地統計

- ・推計人口・面積
- ・国勢調査
- ・住宅・土地統計

農林水産統計

- ・農業センサス
- ・漁業センサス

事業所統計

- ・特定サービス産業実態調査
- ・事業所・企業統計調査
- ・経済センサス

商工業統計

- ・大型小売店(百貨店、スーパー)販売額
- ・鉱工業指数
- ・工業統計調査
- ・商業統計調査

労働・賃金統計

- ・毎月勤労統計調査
- ・労働力調査
- ・就業構造基本調査

物価・家計統計

- ・小売物価統計調査
- ・消費者物価指数
- ・家計調査
- ・全国消費実態調査

経済統計

- ・足元動向指数
- ・四半期別県内GDP速報
- ・県民経済計算
- ・市町民経済計算
- ・産業連関表

教育統計

- ・学校基本調査
- ・学校保健統計調査

厚生統計等・くらし統計

- ・人口動態調査
- ・要介護状態調査
- ・平均寿命
- ・高齢化率
- ・合計特殊出生率
- ・医師・歯科医師・薬剤師調査
- ・県統計生数
- ・社会福祉統計年報
- ・社会生活基本調査

県庁各部局の統計データ

- ・企画県民局
- ・健康福祉部
- ・産業労働部
- ・農政環境部
- ・県土整備部

平成 27 年度マイクロデータの利用・普及活動について(報告)

兵庫県マイクロデータ分析研究会

1. マイクロデータの利用普及・広報活動(神戸大学)

(1) 他機関と連携したセミナー・ワークショップ

公的統計のマイクロデータの収集や配布, 分析等を行う他機関とのワークショップを共催し, 各機関の取り組みについて情報収集と意見交換を行うとともに, リモートアクセスを活用したオンライン利用(オンライン施設においては調査票情報を保存しない)等, 公的統計の調査票情報の利用に関する新たな枠組みについて, (独)統計センターとの意見交換を行った。詳細は以下の通り(予定を含む)。

日 時	報告者	所属	タイトル
京都大学学術情報メディアセンターセミナー「公的統計マイクロデータの二次利用の新展開」			
11月30日	勇上和史	神戸大学	「公的統計マイクロデータのサテライト機関の取り組みと展望」
	角田 敏	統計センター	「リモートアクセスを活用したオンラインシステムによる公的マイクロデータの利用について」
一橋大学経済研究所社会科学統計情報研究センター「匿名データ利用促進ワークショップ」			
12月12日	室賀貴穂	東京大学	非労働所得が既婚男女の時間利用に与える影響に関して
	井上希	青山学院大学	Age-Period-Cohort Analysis of the Financial Assets and the Market Size Projection in Japan
	坂部裕美子	(公財)統計情報研究開発センター	匿名データの利用ガイドと研究事例
	勇上和史 白川清美	神戸大学 一橋大学	サテライト機関の取り組み
神戸大学マイクロデータ・アーカイブ「KUMA マイクロデータ利用促進ワークショップ」			
3月3日 16:00-18:00 於：神戸大学六甲台キャンパス第二学舎 3F 大会議室	窪田康平	山形大学	“Effects of Japanese Compulsory Educational Reforms on Educational Expenditures”
	橋本紀子	関西大学	家計属性による費目間構造の違い - 全国消費実態調査マイクロデータによる分析 -
	白川清美	一橋大学	一橋大学における二次的利用に関する取り組み
	勇上和史	神戸大学	神戸大学におけるマイクロデータ利用支援の取り組み
	椿 広計	(独)統計センター理事長	統計センターにおける二次的利用拡大等に向けた取組

- (2) 定例の KUMA セミナー／RIEB セミナーを開催・参加し、公的統計等のマイクロデータを用いた実証研究ならびに計量手法等に関する情報収集と報告者との意見交換を行った。

実証研究例：危機と雇用分析、メンタルヘルスと雇用分析など

日 程	名 前	所 属	タイトル
7月27日	玄田有史	東京大学	『危機と雇用—災害の労働経済学』をめぐって
10月15日	黒田祥子	早稲田大学	「メンタルヘルスと雇用 働き方との関係、企業業績への影響」
10月30日	川瀬晃弘	東洋大学	"Does Free Vaccination Improve the Immunization Coverage of Uninsured Children?"
	中澤克佳	東洋大学	"Change in Strategic Interaction after Introducing Policy"
12月14日	近藤恵介	経済産業研究所	"Does agglomeration discourage fertility? Evidence from the Japanese General Social Survey 2000-2010 "
2月22日	中田大悟	創価大学	「寄付行動の経済分析～東日本大震災前後の変化を中心として～」
	安藤道人	社会保障人口問題研究所	ミニレクチャー："Credibility revolution"以降の応用マイクロ計量分析

2. KUMA と連携した講義・演習の実施(神戸大学)

KUMA を通じて利用可能な公的統計（6種）の匿名データの利用を想定し、メタデータの解説とマイクロ計量手法の概説、研究計画の作成支援に関する講義，ならびに、策定された研究計画に基づく匿名データ等を用いた KUMA「データ管理室」における Stata(統計解析ソフト)演習を実施し、公的統計等のマイクロデータを用いた実証研究を実践的に支援した。講義ならびに演習の概要は以下の通り。

(1) ミクロデータ分析

- 担当：檜康子氏（神戸大学大学院経済学研究科・研究員）
- 内容
 - ミクロデータの概要と特徴
 - ◇ 国勢調査，全国消費実態調査，社会生活基本調査，就業構造基本調査，住宅・土地統計調査，労働力調査
 - ◇ 佐藤朋彦氏（総務省統計局・神戸大学経済経営研究所客員教授）によるマイクロデータの利用に関する講義

- ミクロデータの分析方法
 - ◇ ミクロ計量に関する講義
- リサーチ・プロポーザルの報告
- 受講者
 - 正規の履修者 7 名うち社会人博士課程 3 名，修士課程 3 名，学部 4 回生 1 名
 - その他，聴講のみ 4 名程度

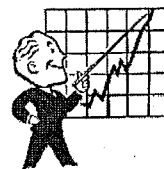
(2) ミクロデータ分析演習

- 担当：森本敦志氏（神戸大学大学院経済学研究科・研究員）
- 内容
 - Stata を用いたミクロデータの加工プログラムの指導
 - Stata を用いたミクロ計量分析のためのプログラム作成の指導
- 受講者
 - 履修者 5 名うち社会人博士課程 2 名，修士課程 2 名，学部 4 回生 1 名

以上

兵庫県における「観光地域経済見える化推進事業」の概要

兵庫県企画県民部統計課
芦谷恒憲



1

報告のあらまし

- 1 観光見える化推進事業概要
- 2 観光動態調査概要
- 3 観光GDP試算
- 4 今後の課題

2

1 観光地域経済見える化推進事業概要

実施期間 平成27年7月～12月、平成28年2月

- 1 観光入込客の動向・観光消費額調査
観光客実態調査(観光客向け・事業者向け)
- 2 観光消費額推計(入込客数、消費額)
- 3 地域観光GDP推計(名目値・実質値)
- 4 地域産業連関表推計(平成23年表・40部門)
- 5 観光見える化データ分析(個別事例調査)

3

兵庫県見える化 推進事業

重点調査地域(6市)

姫路市、豊岡市、朝来市

養父市、丹波市、加西市

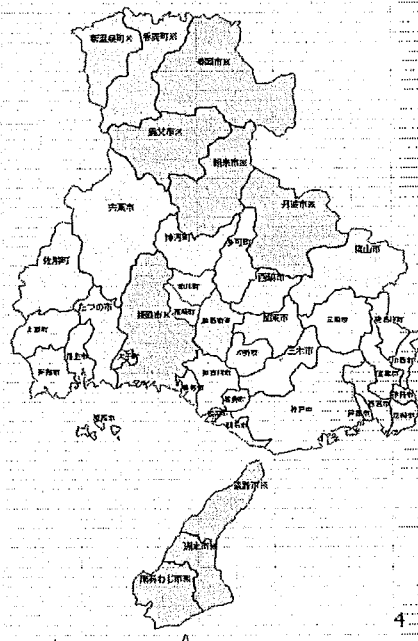
但馬山陰海岸地域

(豊岡市、香美町、新温泉町)

淡路地域

(洲本市、南あわじ市、淡路市)

兵庫県(41市町)



4

観光見える化推進事業概要1 地域観光統計の課題の改善

背景

- ・観光が地域振興や地域再生等の取組みの中で果たす役割は大きい
- ・定量的な効果の把握が求められるが、観光客入込数が主として用いられ総合的指標により把握されていない

目的

観光産業や観光客の実態をあらわす統計指標の作成、活用方法を明らかにする

5

見える化推進事業 観光動態調査概要

- ・関連産業の経済規模の把握
(地域観光GRPの推計資料収集)
- ・観光施設、集客イベントの把握・経済効果測
(地域産業連関表の作成資料収集)
- ・観光客満足度の把握(観光客向け動態調査)

区分	推計資料	
観光GRP	消費単価	観光動態調査
	観光客入込客数	兵庫県観光動態調査
地域産業連関表	入込み状況	観光動態調査
	地域内生産額	農林業統計等
		製造業 非製造業
	最終需要	市町民経済計算等
	移出入	観光動態調査

6

観光見える化推進事業 調査対象地域

- ・中心市観光地・周辺市町の状況把握
主要観光地・集客施設、集客イベント状況把握
経済圏中心市：姫路市(西播磨)・豊岡市(但馬)
周辺市：朝来市・養父市・丹波市・加西市
- ・広域市域：山陰海岸ジオパーク(豊岡市、香美町、新温泉町)、淡路地域(洲本市、南あわじ市、淡路市)
- ・小地域：豊岡市(旧出石町)、養父市(ハチ高原)

7

需要側(観光客)の現状・課題把握 観光客動態調査の概要

- ・調査地点：観光施設、集客施設(道の駅等)、地域イベント等
観光需要の季節変動を考慮
平日(月～金)、休日(土日祝祭日)別
- ・観光地シーズン別・客層変化(夏・秋季)を考慮
- ・調査サンプル(目標数約300)
フェイス項目(住所、性別、年齢)
調査対象情報を比較、標本の偏り程度確認

8

観光庁「観光見える化学工業」観光動向調査（観光客向け）

兵庫県観光振興研究会

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名（アメリカ、中国、韓国等）をご記入下さい。兵庫県内にお住まいの場合は市町名をご記入下さい。

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ
 宿泊であれば、何泊か、そのうち市内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。
 また、市内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。※いくつでも

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

Q5. 今回のご旅行は、あなたも含まれて何人ですか。また、どなたと一緒のご旅行ですか。
 ※家族や親戚などを含む

Q6. 今回の観光地への訪問は、同行の皆さんは何回目になりますか。※Q5の人数はQ6と一致

Q7. (市外にお住まいの方のみお答えください)

Q8. 市内での滞在時間（見込み）はどれくらいでしょうか。

Q9. 今回の旅行で訪れた市内の観光地と移動に利用した交通機関及びこれから訪問する観光地についても予定をご記入下さい

また、この場所に訪れる前後に立ち寄った（立ち寄る予定の）市町があれば記入下さい。

Q10. 今回の旅行で、使う金額（これから使う予定も含めて）を教えてください。

1人当たりの消費金額を、下記の項目別に、百円単位でご記入下さい。

項目	使用金額（市内分）	使用金額（市外分）
① 交通費	00円	00円
② 宿泊費	00円	
③ 土産代	00円	
④ 飲食費	00円	
⑤ 入場料	00円	
⑥ その他	00円	
⑦ パック料金※		00円

※ □市外分のみ もしくは □市外分を含む

Q11. 市内の観光地について、どうお感じになりましたか。（それぞれの項目ごとに、1つに○印）

	大変満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
当地の印象(訪問前)	5	4	3	2	1
当地の印象(訪問後)	5	4	3	2	1
おもてなし	5	4	3	2	1
雰囲気・景観	5	4	3	2	1
観光情報	5	4	3	2	1
飲食	5	4	3	2	1
土産品	5	4	3	2	1
当地までの交通手段	5	4	3	2	1

供給側(ホテル、観光施設等事業者) 事業所向け調査の概要

・売上・仕入状況把握

事業所向け・消費者向け比率、販売先比率、金額変化、販売先・仕入先変化

・地元産の取扱やサービス提供状況把握

・詳細情報把握:土産種類(農水産物、菓子類、衣料品、玩具等)把握、販売比率・オリジナルグッズ(衣料、雑貨等)の有無等把握

観光庁「観光見える化事業」観光動態調査(事業所向け)
兵庫県観光統計研究会

1 売上について

貴事業所が平成26年1～12月に販売した商品・サービスの売上総額はいくらでしたか。この期間で記入が困難な場合は、平成26年を最も多く含む1年間で記入してください

項目	金額	割合
売上額(平成26年)	万円	100%
事業所向け	-	%
消費者向け	-	%

商品・サービスの売上額について売上の上位3品目及び総売上額に占める割合及び販売先の所在する地域(顧客の所在地・住所)の割合をご記入ください。

販売品目	総売上額 割合	販売先地域別割合				
		地域計	市町内	県内(市町外)	国内(県外)	国外
第1位	%	100%	%	%	%	%
第2位	%	100%	%	%	%	%
第3位	%	100%	%	%	%	%

2 仕入について

貴事業所が平成26年1～12月に仕入れた商品・サービスの仕入れ総額はいくらでしたか。

項目	金額	割合
仕入額(平成26年)	万円	100%
事業所向け	-	%
消費者向け	-	%

商品・サービスの売上額について仕入額の上位3品目及び仕入総額に占める割合及び仕入額の仕入地域別の割合をご記入ください。

仕入品目	総仕入額 割合	仕入先地域別割合				
		地域計	市町内	県内(市町外)	国内(県外)	国外
第1位	%	100%	%	%	%	%
第2位	%	100%	%	%	%	%
第3位	%	100%	%	%	%	%

11

データ整理の留意点1 パック料金の配分

- ・パック料金ツアーは、交通費、宿泊費等の内訳が区分できない
- ・パック料金内容内訳把握
宿泊、飲食、鉄道・バス、船、飛行機、レンタカー、入場料・体験料、添乗員同行、その他
- ・当該地域での各項目(交通費、宿泊費、飲食費等)の総費用の平均比率により配分、加算

12

データ整理の留意点2 欠測値・外れ値の対応

- ・交通費(市内分)未記入のデータの補正: 近距離(市内・隣接市町)・中距離(その他県内)・遠距離別(県外)に区分し、平均単価に置き換え
- ・外国人旅行者や長期滞在者等高額交通費(概ね平均値の5倍以上)の計算から除外
- ・自動車移動が多い地域は、交通費単価を補正利用者平均単価をグループ平均人員により補正

13

観光動態調査概要1 需要側調査(夏季・秋季・一部冬季)

<H27年7月観光客調査>							
地域	調査日程	調査場所等			サンプル数	日帰り	宿泊
加西市	7/31-8/3	フラワーセンター	サイサイ祭り		294	294	0
養父市	8/7-8/8	吉杉高原おおやスキー場	道の駅ようか	あゆ公園	424	226	198
豊岡市	8/9-8/10	出石町観光センター	城崎温泉(駅前、足湯)		1219	635	684
但馬地域	8/14-8/17	竹野海岸(北前館付近)	宍住海岸(しよ和旅館)	浜坂海岸(シオハーブ館)	893	830	563
丹波市	8/21-8/24	ちーたんの館(山南)	道の駅丹波おばあちゃんの里		580	455	125
朝来市	8/21-8/24	竹田城(中腹駐車場)	生野銀山		624	282	342
淡路地域	8/28-8/31	道の駅あわじ	淡路ファームパーク	後継り-林ハークCHICKORO	1,166	566	580
姫路市	5/306/14	姫路城	水族館	書写山園教寺	585		上乗せ調査
<H27年9-11月観光客調査>							
地域	調査日程	調査場所等			サンプル数	日帰り	宿泊
加西市	10/23-10/26	フラワーセンター	北条宿はくらん会		445	444	1
養父市	9/28-9/29	道の駅ようか	道の駅たしま楽座	道の駅やぶ	611	281	330
豊岡市	11/19-11/22	出石町観光センター	城崎温泉		581(SRC分)	172	409
但馬地域	8/22-25	竹野海岸(北前館)	道の駅あまべ	浜坂海岸(シオハーブ館)	526	233	293
丹波市	11/12-15	道の駅あおがき	道の駅丹波おばあちゃんの里		473	292	81
朝来市	10/8-10.12	竹田城	生野銀山		508	310	250
淡路地域	10/16-1730-31	道の駅あわじ	淡路ファームパーク	後継り-林ハークCHICKORO	1086	628	436
姫路市	9月	姫路城	水族館	書写山園教寺	476	277	199
<H28年2月観光客調査案>							
地域	調査日程	調査場所等			サンプル数	日帰り	宿泊
養父市	H28年2月予定	ハチ高原			300		

14

観光動態調査概要2

供給側調査、住民意識調査

<供給者調査>

地域	調査日程	対象施設
加西市	9/28	土産物店
豊岡市	8/27,28	旅館、お土産処
但馬地域	9/22	旅館
丹波市	11/12,13	旅館、農業生産
朝来市	10/6	旅館
淡路地域	10/31	ホテル
姫路市	9/5,15	ホテル旅館、土産物店

<住民意識調査>

地域	調査日程
養父市	インターネット調査(400サンプル)11月下旬
豊岡市	インターネット調査(400サンプル)12月上旬

15

観光指標作成のためのデータ収集

- ・経済的観点からデータ
 - 観光客入り込み客数(日帰り、宿泊別)
 - 1人当たり観光消費金額(交通費、宿泊費等)
 - 部門別付加価値率(飲食・宿泊業等)
 - 経済効果(販売先、仕入先地域別割合等)
- ・社会的観点からデータ
 - 観光地満足度(印象、おもてなし、景観等)

16

観光動態調査 データ補正後

平均観光消費推計単価(バック料金配分後) (単位:円)

項目	合計	交通費 (市内)	交通費 (市外)	宿泊費	お土産	飲食費	入場料	その他	市内分計	市内分比率(%)	平均宿泊 数	市内宿泊 数
加西市	日帰り	4,519	489	755	0	804	1,046	624	139	3,704	82.3	
	宿泊	12,029	300	533	8,233	687	2,333	624	139	12,396	95.9	1.67
姫路市	日帰り	13,697	1,478	4,745	0	2,040	2,348	3,020	64	8,952	65.4	
	宿泊	108,949	6,200	58,694	30,704	5,289	5,348	2,503	216	60,255	46.1	2.98
豊岡市	日帰り	14,771	2,510	2,452	0	3,481	5,405	640	223	12,319	83.4	
	宿泊	102,059	3,981	23,171	54,682	9,801	8,085	1,180	159	78,888	77.8	1.20
養父市	日帰り	13,181	841	5,382	0	1,843	2,590	1,824	611	7,809	59.2	
	宿泊	43,890	2,665	15,167	15,840	2,717	6,404	567	530	28,528	65.3	1.58
朝来市	日帰り	17,504	1,118	8,836	0	2,565	2,529	2,358	78	6,648	48.4	
	宿泊	59,117	1,543	32,482	15,075	3,352	3,075	2,673	837	26,655	45.1	1.64
丹波市	日帰り	9,484	829	4,109	0	2,082	1,989	528	172	5,975	56.7	
	宿泊	44,077	967	12,718	21,008	2,578	4,657	348	800	31,359	71.1	1.43
但馬地域	日帰り	13,555	1,507	7,101	0	1,380	3,095	337	235	6,564	48.0	
	宿泊	74,500	1,848	18,035	40,802	5,155	7,522	720	517	58,585	78.6	1.58
淡路地域	日帰り	16,891	1,305	7,890	0	2,678	3,682	2,546	615	11,031	58.4	
	宿泊	61,814	1,739	19,398	25,681	6,277	5,707	3,510	622	43,416	70.2	1.25
出石町	日帰り	17,896	3,431	4,802	0	3,732	5,780	102	8	13,084	72.7	
	宿泊	81,480	5,614	13,088	51,586	8,075	10,863	1,045	89	78,382	85.7	1.19

(出所)兵庫県観光統計研究会(2015)

17

市町観光GDP試算結果

但馬海岸地域(豊岡市・香美町・新温泉町)

平成26年度観光GDP(試算) 但馬海岸地域(豊岡市・香美町・新温泉町)

区分	日帰り客 単価(円)A	日帰り客 消費額B	宿泊客 単価(円)C	宿泊客 消費額D	観光消費額計 E=B+D	付加価値率 F	観光GDP G=E×F	H26/H25 %
交通費(市内)	1,507	5,101	1,849	1,900	7,001	0.52931	3,706	2.1
交通費(市外)	7,101	24,036	18,035	18,631	42,567	0.52931	22,531	2.7
宿泊費(市内)	0	0	24,818	25,600	25,600	0.40332	10,285	4.9
宿泊費(市外)	0	0	15,984	16,423	16,423	0.40332	6,624	4.9
お土産	1,380	4,671	5,155	5,297	9,968	0.68155	6,797	3.1
飲食費	3,095	10,476	7,522	7,729	18,205	0.54094	9,848	2.7
入場料	337	1,141	720	740	1,881	0.54094	1,017	2.5
その他	235	795	517	531	1,327	0.54094	718	2.7
計		46,221		76,650	122,871		61,526	3.3
観光GDP(名目)		22,185		41,696	63,881		32,371	3.4
調整係数	全国	1.53		1.71		H26GDP	359,938	0.9
観光客動態	日帰り客	5,178,900	宿泊客	1,759,064		GDP比(%)	9.0	--
	調整後	3,384,902	調整後	1,027,436				
宿泊単価補正	40,802	1.58	9.96	24,818				

(作成)兵庫県立大学政策科学研究所地域経済指標研究会(2016)

18

3 観光統計の活用に向けて

- ・統計活用のために
観光が地域へもたらす貢献度を明確化する
客観的データにより成果を検証する
- ・経済効果を高めるために
域内循環を高める(部門別自給率の向上等)
観光イベントの実施(地域内需要喚起等)
地域の魅力の発信(観光客等満足度向上等)

19

観光統計今後の取り組みに向けて

地域により観光データの蓄積状況が異なるため
地域の実情にあった取り組みを行う

地域区分別対応案

区分	対応案	
観光指標の作成	目標設定、進捗把握	WEBページで公表
経済効果分析	観光イベント効果測定	アンケート調査実施
観光指標活用	DMO等で地域活性化 実践活動	イベントの実施支援 活動報告会の開催

20



平成28年1月22日
観光庁

観光地域経済「見える化」のモデル手法を公表いたします

- 各自治体や日本版DMOによる効果的な観光地域づくりを促進するため、観光庁の支援の下、全国5つの地域が観光地域づくりのベースとなる観光に関わる基礎データの収集、分析等の手法（地域への入込客数、消費額、経済波及効果等）について研究を行い、観光分野及び統計分野における有識者の助言をいただきながら、モデルとなる手法を取りまとめました。
- 今般、観光庁において、このモデル手法を報告書として公表いたしますので、全国各地の自治体や日本版DMOが地域の観光経済の「見える化」を行う際にご活用ください。

1. 『観光地域経済の「見える化」推進事業』について

- ・ 各自治体や日本版DMOが観光に関する戦略策定等を行うに当たっては、当該地域の観光の実情（入込客数、観光消費額等）、観光による経済効果などを把握する、いわゆる「観光地域経済の見える化」が重要です。しかしながら、現時点では地域レベル（市町村など、都道府県より狭い範囲の地域）における把握手法が整備されておられません（※1）。

※1：例えば、市町村の観光担当部局や地域DMOにおいて、自分の地域の観光消費額を把握しようとしても、具体的にどのような調査票を使用して、どこで誰からアンケートをすればよいのか、アンケート結果をどのように分析して消費額を算出すればよいのか、といった手法が担当者の方々に分かりやすく情報提供されていない

- ・ このため、観光庁では、『観光地域経済の「見える化」推進事業』を実施することといたしました。この事業は、昨年3月に全国5つのモデル地域（※2）を選定し、観光庁の支援の下、各地域において観光に関わる基礎データの収集、分析等の調査手法の検討に取り組んでいただくとともに、その成果を全国各地域において活用していただくことを目指すものです。

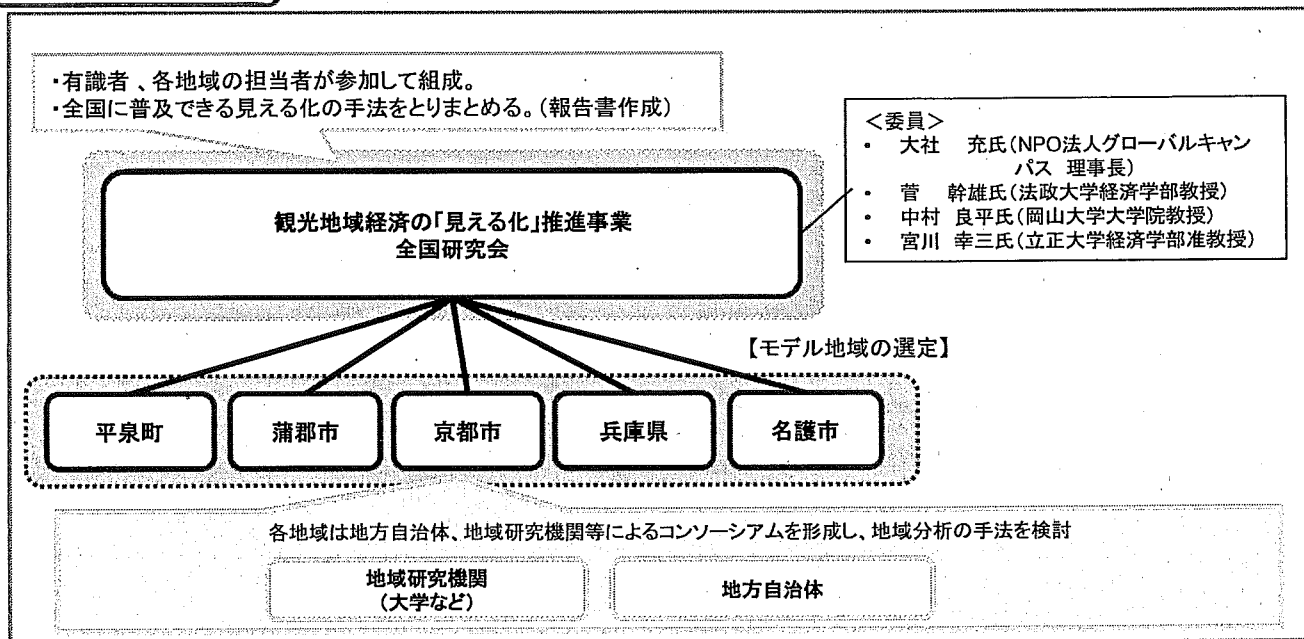
※2：モデル地域・・・岩手県平泉町、愛知県蒲郡市、京都府京都市、兵庫県、沖縄県名護市
昨年1月に公募を行った結果、全国17の自治体より応募があり、事業計画の具体性、実現可能性、汎用性等について有識者の意見を伺いながら審査を実施し、上記5つの地域を選定した。

- ・ このたび、各モデル地域における事業の成果を報告書として取りまとめましたので、各自治体や日本版DMO等に広くご活用いただけるよう、公表いたします。



～調査のイメージ～

2. 実施体制



- ・ 各モデル地域において、地域研究機関等と連携しつつ、それぞれ複数の調査・分析手法について検討いただきました。
- ・ 検討の状況は、随時、全国研究会に報告され、有識者委員から改善すべき点等についてアドバイスをいただきました。
- ・ 各モデル地域の検討結果は昨年末までに取りまとめられましたが、全国研究会の有識者委員とご相談し、モデル地域が検討した手法の中から、全国各地域での取組の参考となる手法を「モデル手法」(※3)として選定しました。

※3：モデル手法の詳細は報告書の第2章において紹介しておりますので、ご参照下さい。

3. 報告書の概要等

- ・ 各モデル地域において入込客数、観光消費額、経済波及効果等を把握するために実施していただいた手法のうちから全国各地域での取組の参考となる13の手法をモデル手法として整理し、取りまとめました。

各手法の概要は、別紙のとおりです。

報告書は観光庁HPに掲載しておりますので、ご参照下さい。

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/mieruka.html>

- ・ 全国の各地域におかれては、それぞれの地域の実情によって自らの地域で把握したいデータ等が異なることが考えられますが、報告書にも記載した各手法のメリット・デメリットなども参考にしながら手法を選択し、観光地域経済の見える化を行っていただきたいと考えております。

問い合わせ先
観光庁観光戦略課調査室 堀、佐藤
TEL 03-5253-8111(内線 27-214)
03-5253-8325(直通)
FAX 03-5253-1563

入込客数、観光消費額、経済波及効果等を把握するための手法

観光地域経済の「見える化」推進事業において5つのモデル地域が実施した調査手法のうち、全国各地域の参考となるものをモデル手法として選定しました。各手法の概要は以下のとおりですが、詳細は、報告書をご参照ください。

(1) 入込客数・観光消費額を把握する手法

① 現地アンケート調査で把握する手法

①-1 入込客数・観光消費額把握の前提となる属性別人数構成比・観光消費単価を把握する手法

a) 市町村等の観光実態を観光客を対象とした調査から把握する手法

a-1) 既存の統計の調査票を活用して対面式調査を行う手法（岩手県平泉町、兵庫県） (報告書 P16 ~ P27)

- ・観光庁が都道府県向けに整備している「共通基準による観光入込客統計」で各自治体が使用している調査票を活用。
- ・県内の地域（市町村の区域や複数市町村を包含する区域）における入込客の属性別人数構成比、観光消費単価を調査。
- ・観光客を対象に対面式調査で把握。

【評価：既存の調査票を使うため、低コスト・短期間で実施可能。】

a-2) 地域で独自に設計した調査票を使用して対面式調査を行う手法（京都府京都市） (報告書 P28 ~ P35)

- ・地域で把握したい事項について、独自に調査票を設計。（例えば、来訪動機、満足度、買物をした商業施設のタイプ、購入した品物といった項目を盛り込む。）
- ・市内における訪日外国人の観光実態（入込客の属性別人数構成比、観光消費単価、消費傾向）を調査。
- ・観光客を対象に対面式調査で把握。

【評価：調査票設計等に時間・コストがかかるが、調査票を自由に設計できるので、各地域にとって必要な情報を把握しやすい。】

a-3) 地域で独自に設計した調査票を使用して非対面式調査を行う手法 (愛知県蒲郡市)
(報告書 P36 ~ P47)

- ・地域で把握したい事項について、独自に調査票を設計。(例えば、市内の観光施設別認知度、来訪経験の有無といった項目を盛り込む。)
- ・市内における入込客の属性別人数構成比、観光消費単価等を調査。
- ・観光客を対象とした非対面式の調査手法 (ナンバープレート調査、宿泊施設への留置き調査等) で把握。

【評価：対面式でないため未回答・誤回答が発生しやすい可能性があるが、調査員を活用しないため、低コストで実施できる。】

b) 市町村より狭い区域において把握する手法 (兵庫県)

(報告書 P49 ~ P51)

- ・狭い区域 (例えば、旧市町村の区域) では、主要な観光施設が限られたり、ほとんどの観光客が立ち寄る観光案内所が存在したりするため、網羅的な調査等により精緻な実態把握が可能。
- ・調査票は a) と同様のもので活用し、旧市町村の区域における主要観光施設・宿泊施設や観光案内所にて観光客を対象とした対面式調査を実施。

【評価：狭い地域であるため、高コストにならずに高精度で観光実態を把握できる。】

c) 調査データの分析の前処理手法 (異常値・欠損値処理等)

(報告書 P52 ~ P53)

- ・アンケート調査で回収した調査票情報には、異常値・欠損値等が含まれる場合があり、集計・分析の精度に影響を与える可能性があることから、補正を行う必要がある。
- ・異常値は許容範囲を設定して範囲外の値は集計上除外、欠損値は平均値等で代用、などの方法により補正。

【評価：異常値・欠損値等が生じた際には、この手法で補正を行うことが適当。】

①-2 ①-1 で把握した観光入込客数の属性別人数構成比と観光消費単価から入込客数、観光消費額を推計する手法 (岩手県平泉町)

(報告書 P54 ~ P59)

- ・県が公表している県全体の入込客数や、観光庁が実施する宿泊旅行統計等のデータと a) 等で算出した属性別人数構成比を活用して当該地域の入込客数を算出する。
- ・また、入込客数に a) 等で算出した観光消費単価を乗じて、観光消費額を算出。

【評価：県や観光庁のデータを活用するため、精度よく算出できる。】

② モバイルデータを活用する手法

a) モバイルデータを活用し、特定地域間の観光周遊動態を把握する手法

(岩手県平泉町)

(報告書 P60 ~ P69)

- ・ 特定の携帯電話アプリの利用者から取得した端末位置情報を基にした人口動態データ（モバイルデータ）を購入。
- ・ 当該地域とその近隣地域等における観光周遊パターン別の観光客数を把握。

【評価：モバイルデータの母集団が小さいので、精度に難があり、また、データ購入費用もかかるため高コストとなる。また、購入するデータの仕様の決定が難しい。一方、仕様が決まれば、速やかにデータが取得できるし、今後、モバイルデータの提供が拡大してくれば、活用可能性は向上していく。】

b) モバイルデータを活用し、観光入込客数を把握する手法（沖縄県名護市）

(報告書 P70 ~ P79)

- ・ モバイルデータを購入。
- ・ 市内の観光入込客数と市内の特定観光施設・宿泊施設における入込客数を把握。

【評価：上記 a) と同様。】

(2) 地域版の産業連関表を活用し、経済波及効果を算出する手法

① 地域の移輸出入の実態を域内の事業者を対象とした調査から把握し、精度の高い経済波及効果の推計を可能にする手法（兵庫県）

(報告書 P80 ~ P84)

- ・ 経済波及効果を推計する際に必要となる当該地域の産業連関表について、移輸出入状況を正確に反映させ、波及効果を高精度で把握できるようにする。
- ・ 宿泊施設や土産物店等の供給側を対象に独自の調査票を使用し、品目別の販売先・仕入先等を把握（域内か域外か）。その結果を基に、産業連関表の移輸出入を算出。

【評価：域内の供給側事業者の調査に時間・コストがかかる可能性があるが、域内の経済波及効果を精度よく把握するためには必要な作業である。】

② 地域単位の産業連関表を活用した経済波及効果の算出方法（岩手県平泉町、兵庫県）

(報告書 P85 ~ P92)

- ・ 観光消費額（費目別）を基に、地域単位の産業連関表を活用して経済波及効果を算出。

【評価：地域の産業連関表を使用するため、低コストで経済波及効果の把握が可能。】

(3) その他

① 既存統計を活用した観光KPIの分析手法（京都府京都市）

（報告書 P93 ～ P98）

- ・市が独自に実施している調査や観光庁の訪日外国人消費動向調査の調査票データを活用し、観光KPI（※）に係る分析を実施。（高額消費者の消費動向、来訪目的別の消費動向など）

【評価：既存統計を活用するので、低コストで実施可。】

※観光KPI…地域の観光実態を把握するために設定・評価される指標のこと

② 観光客の満足度、住民意識を把握する手法（沖縄県名護市）

（報告書 P99 ～ P109）

- ・観光客を対象とした満足度調査及び地域住民を対象とした意識調査を実施し、調査結果の分析を通じて観光施策等の改善の方向性を把握。

【評価：調査票の検討等に時間がかかるが、高精度で観光客の満足度や住民意識を把握できる。】

③ 既存統計を活用して都道府県別の産業連関表を用いた経済波及効果の算出を精緻化する手法（事務局）

（報告書 P110 ～ P134）

- ・都道府県単位の産業連関表において、最終需要を観光・非観光等に分解することにより、観光消費による経済波及効果の分析を精緻に実施できるようにする。

（注：市町村等の単位ではなく都道府県単位のものであるが、「見える化」事業に関連するものとして、併せて検討したもの。）

作成年月日	平成28年2月15日
作成部局課室名	企画県民部統計課

平成27年国勢調査結果速報の概要

平成27年10月1日現在で実施した平成27年国勢調査の要計表による兵庫県の人口及び世帯数の概要は次のとおりである。

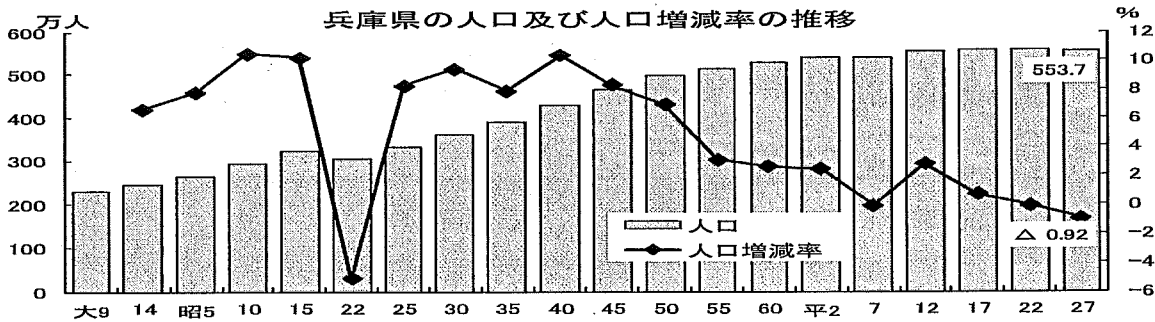
なお、この速報は、本県が独自に集計したものであり、2月26日に総務省統計局が公表する人口速報集計とは相違する場合がある。

1 人口及び世帯数

(1) 総人口(平成27年10月1日現在)

兵庫県の人口は、5,536,989人で、平成22年調査の5,588,133人に比べ51,144人(0.92%)減少している。昭和25年以降、阪神淡路大震災のあった平成7年を除いて平成17年まで増加傾向にあったが、平成22年には減少に転じ、今回は減少幅が拡大している。

(H17→H22 △2,468人、H22→H27 △51,144人)



(2) 世帯数(平成27年10月1日現在)

世帯総数は2,314,206世帯で、前回に比べ58,888世帯(2.61%)増加(H22 2,255,318世帯)。

1世帯当たり人員は2.39人となり、前回調査の2.48人に比べ0.09人減少し、世帯の細分化が一層進んでいる。1世帯当たり人員が3人を超える世帯は、平成22年が5市8町から平成27年はわずか2町に減少した。

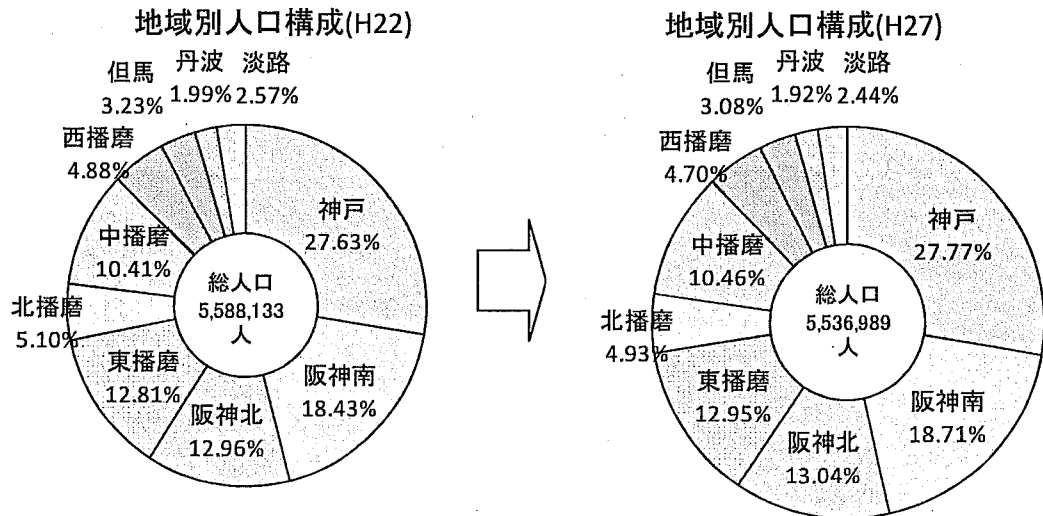
表1 人口・世帯数等の推移

年次	人口					世帯数			1世帯当たり人員	
	人口	男	女	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率		
大正	人			人	%	世帯	世帯	%	人	
9	1920	2,301,799	1,175,426	1,126,373	-	492,529	-	-	4.67	
14	1925	2,454,679	1,239,326	1,215,353	152,880	531,072	38,543	7.83	4.62	
昭和	5	1930	2,646,301	1,332,918	1,313,383	191,622	562,599	31,527	5.94	4.70
10	1935	2,923,249	1,466,284	1,456,965	276,948	611,130	48,531	8.63	4.78	
15	1940	3,221,232	1,622,778	1,598,454	297,983	681,219	70,089	11.47	4.73	
22	1947	3,057,444	1,505,493	1,551,951	△ 163,788	673,990	△ 7,229	△ 1.06	4.54	
25	1950	3,309,935	1,622,755	1,687,180	252,491	713,901	39,911	5.92	4.64	
30	1955	3,620,947	1,773,488	1,847,459	311,012	785,747	71,846	10.06	4.61	
35	1960	3,906,487	1,917,887	1,988,600	285,540	909,121	123,374	15.70	4.30	
40	1965	4,309,944	2,120,749	2,189,195	403,457	1,090,934	181,813	20.00	3.95	
45	1970	4,667,928	2,299,961	2,367,967	357,984	1,269,229	178,295	16.34	3.68	
50	1975	4,992,140	2,453,277	2,538,863	324,212	1,440,612	171,383	13.50	3.47	
55	1980	5,144,892	2,512,358	2,632,534	152,752	1,592,224	151,612	10.52	3.23	
60	1985	5,278,050	2,567,814	2,710,236	133,158	1,666,482	74,258	4.66	3.17	
平成	2	1990	5,405,040	2,619,692	2,785,348	126,990	1,791,672	125,190	7.51	3.02
7	1995	5,401,877	2,612,369	2,789,508	△ 3,163	△ 0.06	1,871,922	80,250	4.48	2.89
12	2000	5,550,574	2,674,625	2,875,949	148,697	2.75	2,040,709	168,787	9.02	2.72
17	2005	5,590,601	2,680,288	2,910,313	40,027	0.72	2,146,488	105,779	5.18	2.60
22	2010	5,588,133	2,673,328	2,914,805	△ 2,468	△ 0.04	2,255,318	108,830	5.07	2.48
27	2015	5,536,989	2,641,983	2,895,006	△ 51,144	△ 0.92	2,314,206	58,888	2.61	2.39

2 地域別人口

(1) 地域別構成比(平成 27 年 10 月 1 日現在)

地域別(県民局別)人口の構成比は、神戸地域(27.77%、前回 27.63%)が最も多く、次いで阪神南地域(18.71%、前回 18.43%)で、この2地域で県全体の約半数(46.49%、前回 46.06%)を占め、都市部への人口集中が進んでいる。



(2) 地域別人口増減(対平成 22 年比)

地域別の人口増減を見ると、阪神南、東播磨の各地域でわずかに増加し、その他の地域ではすべて減少した。5%以上の減少は、但馬(△5.70%)、淡路(△5.85%)の2地域。

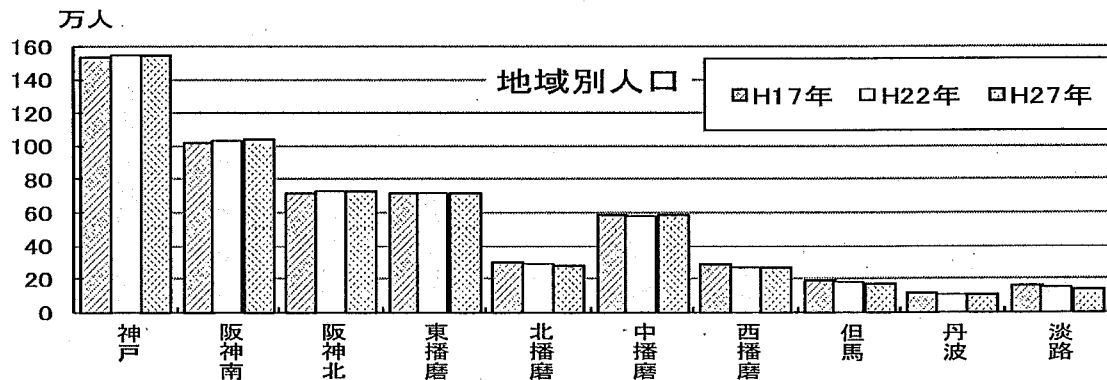


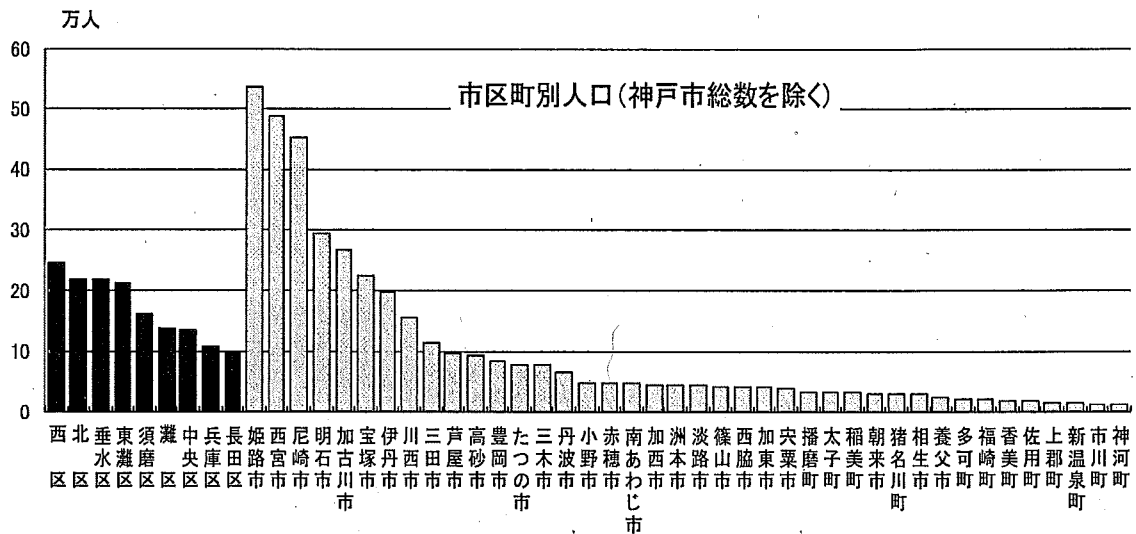
表 2 地域別人口・世帯数等(平成 27 年 10 月 1 日現在)

地域	人口		増減数		世帯数		増減率		1世帯当たり人員
	人	構成比 %	人	増減率 %	世帯	構成比 %	世帯	増減率 %	
県計	5,536,989	100.00	△ 51,144	△ 0.92	2,314,206	100.00	58,888	2.61	2.39
神戸	1,537,860	27.77	△ 6,340	△ 0.41	705,061	30.47	20,878	3.05	2.18
阪神南	1,036,158	18.71	6,532	0.63	463,102	20.01	11,358	2.51	2.24
阪神北	722,081	13.04	△ 2,124	△ 0.29	287,586	12.43	7,387	2.64	2.51
東播磨	716,796	12.95	790	0.11	285,892	12.35	10,755	3.91	2.51
北播磨	272,711	4.93	△ 12,058	△ 4.23	97,593	4.22	1,598	1.66	2.79
中播磨	579,325	10.46	△ 2,352	△ 0.40	227,600	9.83	7,211	3.27	2.55
西播磨	260,408	4.70	△ 12,068	△ 4.43	94,780	4.10	25	0.03	2.75
但馬	170,311	3.08	△ 10,296	△ 5.70	61,902	2.67	△ 347	△ 0.56	2.75
丹波	106,195	1.92	△ 4,825	△ 4.35	38,128	1.65	325	0.86	2.79
淡路	135,144	2.44	△ 8,403	△ 5.85	52,562	2.27	△ 302	△ 0.57	2.57

3 市区町別人口(平成 27 年 10 月 1 日現在) 別表参照

兵庫県内の市町別人口は多い順に、①神戸市 (1,537,860 人)、②姫路市 (535,807 人)、③西宮市 (488,147 人) と続き、最も少ないのは神河町 (11,462 人) となっている。

神戸市の区別人口では多い順に、①西区 (245,895 人)、②北区 (219,868 人)、③垂水区 (219,554 人) と続き、最も少ないのは長田区 (97,952 人) となっている。



別表 市区町別人口・世帯数(平成27年国勢調査結果速報)

区分	平成27年国勢調査速報値						平成22年国勢調査							
	人口		世帯数		1世帯 当たり 人員 A/B	人口		世帯数		1世帯 当たり 人員 A'/B'				
	A	男	女	順位		B	順位	A'	男		女	順位	B'	順位
県計	5,536,989	2,641,983	2,895,006	-	2,314,206	-	2.39	5,588,193	2,673,328	2,914,805	-	2,255,318	-	2.48
市部計	5,277,276	2,517,117	2,760,159	-	2,222,054	-	2.37	5,318,635	2,544,087	2,774,548	-	2,164,851	-	2.46
郡部計	259,713	124,866	134,847	-	92,152	-	2.82	269,498	129,241	140,257	-	90,467	-	2.98
神戸地域	1,537,860	726,877	810,983	1	705,061	1	2.18	1,544,200	731,114	813,086	1	684,183	1	2.26
阪神南地域	1,036,158	490,563	545,595	2	463,102	2	2.24	1,029,626	491,261	538,365	2	451,744	2	2.28
阪神北地域	722,081	342,600	379,481	3	287,586	3	2.51	724,205	345,056	379,149	3	280,199	3	2.58
東播磨地域	716,796	348,991	367,805	4	285,892	4	2.51	716,006	349,594	366,412	4	275,137	4	2.60
北播磨地域	272,711	131,861	140,850	6	97,593	6	2.79	284,769	137,823	146,946	6	95,995	6	2.97
中播磨地域	579,325	279,503	299,822	5	227,600	5	2.55	581,677	280,829	300,848	5	220,389	5	2.64
西播磨地域	260,408	125,148	135,260	7	94,780	7	2.75	272,476	130,513	141,963	7	94,755	7	2.88
但馬地域	170,311	81,671	88,640	8	61,902	8	2.75	180,607	86,110	94,497	8	62,249	8	2.90
丹波地域	106,195	50,549	55,646	10	38,128	10	2.79	111,020	52,754	58,266	10	37,803	10	2.94
淡路地域	135,144	64,220	70,924	9	52,562	9	2.57	143,547	68,274	75,273	9	52,864	9	2.72
神戸市	1,537,860	726,877	810,983	1	705,061	1	2.18	1,544,200	731,114	813,086	1	684,183	1	2.26
東灘区	213,727	100,902	112,825	-	97,147	-	2.20	210,408	98,821	111,587	-	94,039	-	2.24
灘区	136,130	64,317	71,813	-	67,356	-	2.02	133,451	63,003	70,448	-	65,178	-	2.05
兵庫区	106,983	52,615	54,368	-	57,810	-	1.85	108,304	52,488	55,821	-	56,954	-	1.90
長田区	97,952	45,866	52,086	-	48,722	-	2.01	101,624	47,657	53,967	-	48,224	-	2.11
須磨区	162,533	74,825	87,708	-	73,295	-	2.22	167,475	77,616	89,859	-	71,657	-	2.34
垂水区	219,554	102,760	116,794	-	95,512	-	2.30	220,411	103,928	116,483	-	94,016	-	2.34
北区	219,868	103,803	116,065	-	87,293	-	2.52	226,836	107,531	119,305	-	86,350	-	2.63
中央区	135,218	63,035	72,183	-	80,917	-	1.67	126,393	59,240	67,153	-	73,814	-	1.71
西区	245,895	118,754	127,141	-	97,069	-	2.53	249,298	120,835	128,463	-	93,951	-	2.65
姫路市	535,807	258,735	277,072	2	212,563	2	2.52	536,270	259,320	276,950	2	205,587	3	2.61
尼崎市	452,571	218,978	233,593	4	210,253	4	2.15	453,748	221,216	232,532	4	209,343	2	2.17
明石市	293,509	141,821	151,688	5	121,866	5	2.41	290,959	141,344	149,615	5	116,948	5	2.49
西宮市	488,147	228,487	259,660	3	210,890	3	2.31	482,640	227,660	254,990	3	202,648	4	2.38
洲本市	44,271	20,987	23,284	21	18,090	18	2.45	47,254	22,449	24,805	21	18,447	18	2.56
芦屋市	95,440	43,098	52,342	11	41,959	10	2.27	93,238	42,385	50,853	12	39,753	11	2.35
伊丹市	197,040	95,731	101,309	8	78,904	8	2.50	196,127	95,665	100,462	8	77,263	8	2.54
相生市	30,142	14,511	15,631	32	12,135	28	2.48	31,158	14,972	16,186	31	12,141	28	2.57
豊岡市	82,269	39,497	42,772	13	30,152	13	2.73	85,592	40,791	44,801	13	29,741	13	2.88
加古川市	267,434	131,128	136,306	6	103,457	6	2.58	266,937	130,931	136,006	6	99,645	6	2.68
赤穂市	48,591	23,332	25,259	18	18,714	17	2.60	50,523	24,183	26,340	17	18,826	17	2.68
西脇市	40,890	19,521	21,369	24	15,045	25	2.72	42,802	20,555	22,247	24	14,989	24	2.86
宝塚市	224,977	104,215	120,762	7	94,206	7	2.39	225,700	105,289	120,411	7	91,737	7	2.46
三木市	77,310	37,110	40,200	15	28,584	14	2.70	81,009	38,862	42,147	14	28,506	14	2.84
高砂市	91,065	44,404	46,661	12	36,390	12	2.51	93,901	45,903	47,998	11	35,737	12	2.63
川西市	156,481	73,915	82,566	9	62,653	9	2.50	156,423	73,930	82,493	9	60,584	9	2.58
小野市	48,605	23,730	24,875	17	16,856	21	2.88	49,680	24,148	25,532	19	16,470	21	3.02
三田市	112,732	54,183	58,549	10	41,044	11	2.75	114,216	55,175	59,041	10	40,068	10	2.85
加西市	44,352	21,661	22,691	20	15,356	23	2.89	47,993	23,392	24,601	20	15,188	23	3.16
篠山市	41,506	19,757	21,749	23	15,565	22	2.67	43,263	20,616	22,647	23	15,342	22	2.82
養父市	24,293	11,695	12,598	33	8,713	33	2.79	26,501	12,699	13,802	33	9,062	33	2.92
丹波市	64,689	30,792	33,897	16	22,563	16	2.87	67,757	32,138	35,619	16	22,461	16	3.02
南あわじ市	46,948	22,450	24,498	19	16,964	20	2.77	49,834	23,809	26,025	18	16,981	20	2.93
朝来市	30,855	14,816	16,039	30	11,497	30	2.68	32,814	15,727	17,087	29	11,655	29	2.82
淡路市	43,925	20,783	23,142	22	17,508	19	2.51	46,459	22,016	24,443	22	17,436	19	2.66
宍粟市	37,792	18,021	19,771	26	12,736	27	2.97	40,938	19,393	21,605	25	13,174	26	3.11
加東市	40,332	19,625	20,707	25	15,104	24	2.67	40,181	19,738	20,443	26	14,133	25	2.84
たつの市	77,443	37,257	40,186	14	27,286	15	2.84	80,518	38,727	41,791	15	26,803	15	3.00
猪名川町	30,851	14,556	16,295	31	10,779	32	2.86	31,739	14,997	16,742	30	10,547	31	3.01
多可町	21,222	10,214	11,008	34	6,648	35	3.19	23,104	11,128	11,976	34	6,709	34	3.44
稲美町	31,033	15,225	15,808	29	11,018	31	2.82	31,026	15,175	15,851	32	10,226	32	3.03
播磨町	33,755	16,413	17,342	27	13,221	26	2.55	33,183	16,241	16,942	28	12,581	27	2.64
市川町	12,311	5,977	6,334	40	4,335	40	2.84	13,288	6,401	6,887	40	4,350	40	3.05
福崎町	19,745	9,422	10,323	35	6,904	34	2.86	19,830	9,372	10,458	35	6,639	35	2.99
神戸町	11,462	5,369	6,093	41	3,798	41	3.02	12,289	5,786	6,553	41	3,813	41	3.22
太子町	33,699	16,368	17,331	28	12,087	29	2.79	33,438	16,217	17,221	27	11,640	30	2.87
上郡町	15,233	7,331	7,902	38	5,714	38	2.67	16,636	7,975	8,661	38	5,870	38	2.83
佐用町	17,508	8,328	9,180	37	6,108	37	2.87	19,265	9,106	10,159	37	6,301	37	3.06
香美町	18,076	8,662	9,414	36	6,224	36	2.90	19,696	9,364	10,332	36	6,449	36	3.05
新温泉町	14,818	7,001	7,817	39	5,316	39	2.79	16,004	7,529	8,475	39	5,342	39	3.00

(注1) 平成27年国勢調査速報結果は、各市区町から提出された要計表(調査区ごとの人口、世帯数の一覧表)を本県が独自に集計したものであり、平成28年2月26日に総務省統計局が公表する人口速報集計とは相違する場合がある。

(注2) 1世帯当たり人員は、人口を世帯総数で除した数値である。

一般世帯(=世帯総数-施設等世帯数)に係る1世帯当たり人員は、「人口等基本集計」で公表の予定。

区分	人口増減				世帯数増減				面積 (H26.10.1)		人口 密度		
	増減数	順位	増減率	順位	増減数	順位	増減率	順位	D	順位	A/D	順位	
	a(A-A)		a/A×100		b(B-B')		b/B'×100		km ²		人/km ²		
県計	△ 51,144	-	△ 0.92	-	58,888	-	2.61	-	8,400.90	-	659.09	-	
市部計	△ 41,359	-	△ 0.78	-	57,203	-	2.64	-	6,660.52	-	792.32	-	
郡部計	△ 9,785	-	△ 3.63	-	1,685	-	1.86	-	1,740.38	-	149.23	-	
神戸地域	△ 6,340	6	△ 0.41	5	20,878	1	3.05	3	557.02	7	2,760.87	2	
阪神南地域	6,532	1	0.63	1	11,358	2	2.51	5	169.15	10	6,125.68	1	
阪神北地域	△ 2,124	3	△ 0.29	3	7,387	4	2.64	4	480.89	8	1,501.55	4	
東播磨地域	790	2	0.11	2	10,755	3	3.91	1	266.40	9	2,690.68	3	
北播磨地域	△ 12,058	9	△ 4.23	6	1,598	6	1.66	6	895.61	3	304.50	6	
中播磨地域	△ 2,352	4	△ 0.40	4	7,211	5	3.27	2	865.02	5	669.72	5	
西播磨地域	△ 12,068	10	△ 4.43	8	25	8	0.03	8	1,566.98	2	166.18	8	
但馬地域	△ 10,296	8	△ 5.70	9	△ 347	10	△ 0.56	9	2,133.30	1	79.83	10	
丹波地域	△ 4,825	5	△ 4.35	7	325	7	0.86	7	870.80	4	121.95	9	
淡路地域	△ 8,403	7	△ 5.85	10	△ 302	9	△ 0.57	10	595.74	6	226.85	7	
神戸市	△ 6,340	41	△ 0.41	14	20,878	1	3.05	12	※	557.02	3	2,760.87	8
東灘区	3,319	-	1.58	-	3,108	-	3.31	-	34.02	-	6,282.39	-	
灘区	2,679	-	2.01	-	2,178	-	3.34	-	32.66	-	4,168.10	-	
兵庫区	△ 1,321	-	△ 1.22	-	856	-	1.50	-	14.68	-	7,287.67	-	
長田区	△ 3,672	-	△ 3.61	-	498	-	1.03	-	11.36	-	8,622.54	-	
須磨区	△ 4,942	-	△ 2.95	-	1,638	-	2.29	-	28.99	-	5,618.15	-	
垂水区	△ 857	-	△ 0.39	-	1,496	-	1.59	-	28.11	-	7,810.53	-	
北区	△ 6,968	-	△ 3.07	-	883	-	1.02	-	※	240.29	-	915.01	-
中央区	8,825	-	6.98	-	7,103	-	9.62	-	28.97	-	4,667.52	-	
西区	△ 3,403	-	△ 1.37	-	3,118	-	3.32	-	138.01	-	1,781.72	-	
姫路市	△ 463	12	△ 0.09	11	6,976	3	3.39	11	534.33	4	1,002.76	13	
尼崎市	△ 1,177	19	△ 0.26	12	910	12	0.43	24	50.72	33	8,922.93	1	
明石市	2,550	2	0.88	4	4,918	4	4.21	5	49.42	34	5,939.07	3	
西宮市	5,507	1	1.14	3	8,242	2	4.07	6	※	99.96	27	4,883.42	5
洲本市	△ 2,983	34	△ 6.31	31	△ 357	40	△ 1.94	36	182.38	18	242.74	26	
芦屋市	2,202	3	2.36	1	2,206	7	5.55	3	※	18.47	40	5,167.30	4
伊丹市	913	4	0.47	6	1,641	9	2.12	17	25.00	38	7,881.60	2	
相生市	△ 1,016	17	△ 3.26	20	△ 6	28	△ 0.05	28	90.40	29	333.43	22	
豊岡市	△ 3,323	38	△ 3.88	23	411	18	1.38	21	697.55	1	117.94	31	
加古川市	497	6	0.19	8	3,812	5	3.83	9	138.48	23	1,931.21	11	
赤穂市	△ 1,932	28	△ 3.82	22	△ 112	34	△ 0.59	33	126.86	25	383.03	19	
西脇市	△ 1,912	27	△ 4.47	25	56	27	0.37	26	132.44	24	308.74	23	
宝塚市	△ 723	13	△ 0.32	13	2,469	6	2.69	13	※	101.80	26	2,209.99	10
三木市	△ 3,699	40	△ 4.57	27	78	25	0.27	27	176.51	19	437.99	17	
高砂市	△ 2,836	32	△ 3.02	19	593	15	1.66	19	34.45	37	2,643.40	9	
川西市	58	9	0.04	9	2,069	8	3.42	10	53.44	32	2,928.16	7	
小野市	△ 1,075	18	△ 2.16	17	386	19	2.34	15	※	92.94	28	522.97	16
三田市	△ 1,484	22	△ 1.30	16	976	10	2.44	14	210.32	14	536.00	15	
加西市	△ 3,641	39	△ 7.59	35	168	23	1.11	22	※	150.98	21	293.76	24
徳山市	△ 1,757	24	△ 4.06	24	223	22	1.45	20	377.59	8	109.92	33	
養父市	△ 2,208	30	△ 8.33	33	△ 349	39	△ 3.85	41	422.91	6	57.44	37	
丹波市	△ 3,068	35	△ 4.53	26	102	24	0.45	23	493.21	5	131.16	30	
南あわじ市	△ 2,886	33	△ 5.79	29	△ 17	31	△ 0.10	29	229.01	12	205.00	28	
朝来市	△ 1,959	29	△ 5.97	30	△ 158	36	△ 1.36	35	408.06	7	76.55	35	
淡路市	△ 2,534	31	△ 5.45	28	72	26	0.41	25	184.35	17	238.27	27	
宍粟市	△ 3,146	37	△ 7.68	36	△ 438	41	△ 3.32	39	658.54	2	57.39	38	
加東市	151	8	0.38	7	971	11	6.87	2	157.55	20	255.99	25	
たつの市	△ 3,075	36	△ 3.82	21	483	16	1.80	18	※	210.87	13	367.25	20
猪名川町	△ 888	15	△ 2.80	18	232	21	2.20	16	90.33	30	341.54	21	
多可町	△ 1,882	26	△ 8.15	37	△ 61	33	△ 0.91	34	185.19	16	114.60	32	
稲美町	7	10	0.02	10	792	13	7.74	1	34.92	36	888.69	14	
播磨町	572	5	1.72	2	640	14	5.09	4	9.13	41	3,697.15	6	
市川町	△ 977	16	△ 7.35	33	△ 15	29	△ 0.34	30	82.67	31	148.92	29	
福崎町	△ 85	11	△ 0.43	15	265	20	3.99	7	45.79	35	431.21	18	
神河町	△ 327	14	△ 6.73	32	△ 15	29	△ 0.39	31	202.23	15	56.68	40	
太子町	261	7	0.78	5	447	17	3.84	8	※	22.61	39	1,490.45	12
上郡町	△ 1,403	21	△ 8.43	40	△ 156	35	△ 2.66	37	150.26	22	101.38	34	
佐用町	△ 1,757	24	△ 9.12	41	△ 193	37	△ 3.06	38	307.44	10	56.95	39	
香美町	△ 1,620	23	△ 8.23	38	△ 225	38	△ 3.49	40	368.77	9	49.02	41	
新温泉町	△ 1,186	20	△ 7.41	34	△ 26	32	△ 0.49	32	241.01	11	61.48	36	

(注3) 面積は、国土地理院「平成26年全国都道府県市区町村別面積調」(平成26年10月1日現在)による。

※印の面積は、境界未定となっているため、同調への参考値による。

参考

兵庫県市区町別人口推移(国勢調査結果)

区分	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年速報値(※)		
	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	増減数	増減率	%
県計	4,309,944	4,667,928	4,992,140	5,144,892	5,278,050	5,405,040	5,401,877	5,550,574	5,590,601	5,588,133	5,536,989	△ 51,144	△ 0.92
100 神戸市	1,216,614	1,288,901	1,360,565	1,367,390	1,410,834	1,477,410	1,428,792	1,493,398	1,525,393	1,544,200	1,537,860	△ 6,340	△ 0.41
101 東灘区	155,732	170,932	183,872	183,284	184,734	190,354	157,599	191,309	206,037	210,408	213,727	3,319	1.58
102 灘区	169,432	171,281	157,891	142,313	133,745	129,578	97,473	120,518	128,050	133,451	136,130	2,679	2.01
105 兵庫区	177,544	188,419	165,868	142,418	130,429	123,919	98,856	106,897	106,985	108,304	106,983	△ 1,321	△ 1.22
106 長田区	214,345	210,072	185,974	163,949	148,590	136,884	96,807	105,464	103,791	101,624	97,952	△ 3,672	△ 3.61
107 須磨区	104,389	112,359	127,187	155,683	181,966	188,119	176,507	174,056	171,628	167,475	162,533	△ 4,942	△ 2.95
108 垂水区	147,085	206,627	273,591	299,700	224,212	235,254	240,203	226,230	222,729	220,411	219,554	△ 857	△ 0.39
109 北区	76,252	80,923	135,691	164,714	177,221	198,443	230,473	225,184	225,945	226,836	219,868	△ 6,968	△ 3.07
110 中央区	171,895	148,280	130,491	115,329	119,163	116,279	103,711	107,982	116,591	126,393	135,218	8,825	6.98
111 西区	-	-	-	-	110,774	158,580	222,163	235,758	243,637	249,298	245,895	△ 3,403	△ 1.37
201 姫路市	412,507	447,666	479,360	494,825	506,101	509,129	527,854	534,969	536,232	536,270	535,807	△ 463	△ 0.09
202 尼崎市	500,472	553,696	545,783	523,650	509,115	498,999	488,586	466,187	462,647	453,748	452,571	△ 1,177	△ 0.26
203 明石市	159,351	206,561	234,945	254,869	263,363	270,722	287,606	293,117	291,027	290,959	293,509	2,550	0.88
204 西宮市	337,391	377,043	400,622	410,329	421,267	426,309	390,389	438,105	465,337	482,640	488,147	5,507	1.14
205 洲本市	58,974	56,171	55,022	54,826	55,048	54,049	52,839	52,248	50,030	47,254	44,271	△ 2,983	△ 6.31
206 芦屋市	63,195	70,938	76,211	81,745	87,127	87,524	75,032	83,834	90,590	93,238	95,440	2,202	2.36
207 伊丹市	121,380	153,763	171,978	178,228	182,731	186,134	188,431	192,159	192,250	196,127	197,040	913	0.47
208 相生市	38,921	40,657	42,008	41,498	39,368	36,871	36,103	34,320	32,475	31,158	30,142	△ 1,016	△ 3.26
209 豊岡市	96,599	94,732	95,687	96,448	96,086	94,163	93,859	92,752	89,208	85,592	82,269	△ 3,323	△ 3.88
210 加古川市	114,279	140,344	183,280	212,233	227,311	239,803	260,567	266,170	267,100	266,937	267,434	497	0.19
212 赤穂市	44,698	45,942	49,583	51,046	52,374	51,131	51,426	52,077	51,794	50,523	48,591	△ 1,932	△ 3.82
213 西脇市	48,481	45,964	46,182	46,380	46,889	46,220	46,339	45,718	43,953	42,302	40,890	△ 1,912	△ 4.47
214 宝塚市	91,486	127,179	162,624	183,628	194,273	201,862	202,544	213,037	219,862	225,700	224,977	△ 723	△ 0.32
215 三木市	46,688	49,071	63,746	78,297	82,636	84,445	86,562	86,117	84,361	81,009	77,310	△ 3,699	△ 4.57
216 高砂市	61,000	68,900	77,080	85,463	91,434	93,273	97,632	96,020	94,813	93,901	91,065	△ 2,836	△ 3.02
217 川西市	61,282	87,127	115,773	129,834	136,376	141,253	144,539	153,752	157,668	156,423	156,481	58	0.04
218 小野市	36,695	37,623	40,576	43,574	45,686	46,007	48,214	49,432	49,761	49,680	48,605	△ 1,075	△ 2.16
219 三田市	32,265	33,090	35,261	36,529	40,716	64,560	96,279	111,737	113,572	114,216	112,732	△ 1,484	△ 1.30
220 加西市	48,219	48,354	50,161	51,051	52,107	51,784	51,706	51,104	49,396	47,993	44,352	△ 3,641	△ 7.59
221 篠山市	47,346	43,428	42,026	41,685	41,144	41,302	44,752	46,325	45,245	43,263	41,506	△ 1,757	△ 4.06
222 養父市	40,740	36,716	34,319	33,979	33,595	32,092	31,290	30,110	28,306	26,501	24,293	△ 2,208	△ 8.33
223 丹波市	75,877	72,441	72,401	72,982	74,103	73,659	73,988	72,862	70,810	67,757	64,689	△ 3,068	△ 4.53
224 南あわじ市	60,194	58,072	57,813	57,744	57,690	57,526	56,664	54,979	52,283	49,834	46,948	△ 2,886	△ 5.79
225 朝来市	43,637	39,506	37,763	36,850	37,149	36,825	36,766	36,069	34,791	32,314	30,855	△ 1,959	△ 5.97
226 淡路市	66,305	61,675	59,298	57,650	56,306	54,643	53,235	51,884	49,078	46,459	43,925	△ 2,534	△ 5.45
227 宍粟市	50,889	48,558	48,791	49,084	48,980	48,454	47,685	45,460	43,302	40,938	37,792	△ 3,146	△ 7.68
228 加東市	32,823	32,149	32,410	34,275	36,401	38,270	39,743	40,688	39,970	40,181	40,332	151	0.38
229 たつの市	71,340	73,058	78,363	81,167	82,934	83,045	83,431	83,207	81,561	80,518	77,443	△ 3,075	△ 3.82
301 猪名川町	7,038	7,032	7,940	11,526	14,430	21,558	27,130	29,094	30,021	31,739	30,851	△ 888	△ 2.80
365 多可町	27,145	26,282	26,252	26,095	26,179	25,745	25,440	25,331	24,304	23,104	21,222	△ 1,882	△ 8.15
361 稲美町	19,099	21,140	23,425	27,609	29,579	30,503	31,377	32,054	31,944	31,026	31,033	7	0.02
382 播磨町	11,095	13,116	20,011	26,527	29,757	30,813	33,583	33,766	33,545	33,183	33,755	572	1.72
442 市川町	15,211	14,686	14,915	15,230	15,354	15,105	15,060	14,812	14,150	13,288	12,311	△ 977	△ 7.35
443 福崎町	16,322	16,637	17,503	18,089	18,787	19,913	19,954	19,582	20,669	19,830	19,745	△ 85	△ 0.43
446 神河町	15,132	14,659	14,517	14,401	14,266	14,492	13,829	13,500	13,077	12,289	11,462	△ 827	△ 6.73
464 太子町	16,545	20,457	24,751	26,686	29,663	30,477	31,634	31,960	32,555	33,438	33,699	261	0.78
481 上郡町	17,153	16,902	17,448	18,388	18,900	18,781	18,849	18,419	17,603	16,636	15,233	△ 1,403	△ 8.43
501 佐用町	28,921	26,410	25,600	24,874	24,516	23,827	23,341	22,337	21,012	19,265	17,508	△ 1,757	△ 9.12
585 香美町	31,096	28,321	27,571	26,694	25,964	25,136	24,298	23,271	21,439	19,696	18,076	△ 1,620	△ 8.23
586 新温泉町	25,539	22,961	21,876	21,514	21,011	20,226	19,629	18,601	17,467	16,004	14,818	△ 1,186	△ 7.41

※各年の数値は10月1日現在。

※平成27年は本県独自集計のため、平成28年2月26日に総務省統計局が公表する人口速報集計とは異なる場合がある。

※合併市町については、合併後市町で合計している。

《今後の公表予定(総務省統計局)》

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------------------|
| ① 人口速報集計 | 平成 28 年 2 月 | 全国及び市区町村ごとの人口・世帯数 |
| ② 抽出速報集計 | 平成 28 年 6 月 | 男女・年齢別人口、労働力人口、産業別就業者数など |
| ③ 人口等基本集計 | 平成 28 年 10 月 | 全国及び市区町村別、男女・年齢別人口など |
| ④ 就業状態等基本集計 | 平成 29 年 4 月 | |
| ⑤ 世帯構造等基本集計 | 平成 29 年 9 月 | |
| ⑥ 移動人口に関する集計 | 平成 29 年 1 月以降 | |
| ⑦ 従業地・通学地に関する集計 | 平成 29 年 6 月以降 | |
| ⑧ 抽出詳細集計 | 平成 29 年 12 月 | |
- このほか、小地域集計(町丁・字等別の地域ごとの集計)等の結果も公表する。
- インターネットにより結果を公表した後、主な結果を収録した報告書を刊行する。

《利用上の注意》

- この速報は、本県が独自に集計したもので、今後、総務省統計局が公表する数値とは異なる場合がある。
- 1世帯当たり人員は、人口を世帯数で除して算出している。
- (施設等を除いた)一般世帯に係る1世帯当たり人員については、「人口等基本集計」で公表される。
- 「4 人口増減数・増減率の高い市区町の状況」は、49市区町(28市12町9区)の数値を使用した。
- 兵庫県各市町数=41(29市12町)

《問い合わせ先》

兵庫県企画県民部統計課 人口統計班 078-362-4127

平成27年度兵庫県統計活用セミナー実施結果

1 目的

兵庫県及び県内市町により設立された兵庫県統計協会事業の一環として、統計データの利用、理解及び普及を図り、さらなる統計の活用に資するためのセミナーを開催した。

2 日時

平成28年2月19日(金)13:30～16:30

3 場所

兵庫県立のじぎく会館大会議室

4 参加者

県及び市町職員、協会賛助会員、学識者、企業・金融機関等 77 名

年度	参加者数	セミナー概要
24	35名	① 震災と統計について ② 小中学校への統計出前講座(岐阜県例)について
25	80名	① 本県の金融経済情勢について、 ② オープンデータの取組と高度化について
26	82名	① 本県の金融経済情勢について ② 本県人口の現状等について
27	77名	① 本県の金融経済情勢について ② 本県観光の現状等について

5 セミナー概要

(1) セミナーⅠ 経済統計から見た兵庫県の金融・経済情勢について

ア 講師

石川 誠嗣 日本銀行神戸支店営業課長

イ 概要

経済統計を基に、わが国及び本県の経済・金融の現状や今後の展望等について講演した。

(2) セミナーⅡ 統計からみた本県観光の現状について

ア 講師

大井 達雄 和歌山大学観光学部准教授

イ 概要

観光統計の種類、わが国の観光市場の動向、本県での滞在状況、外国人消費額、本県観光の課題等について講演した。

6 セミナーに対する感想

(1) セミナーⅠ 経済統計から見た兵庫県の金融・経済情勢について

- ア 大変参考になった 14名(25.9%)
- イ 参考になった 30名(55.5%)
- ウ 参考にならなかった 5名(9.3%)
- エ 無回答 5名(9.3%)

(2) セミナーⅡ 統計からみた本県観光の現状について

- ア 大変参考になった 20名(37.0%)
- イ 参考になった 24名(44.4%)
- ウ 参考にならなかった 5名(9.3%)
- エ 無回答 5名(9.3%)

セミナーⅠ、Ⅱの状況



平成28年2月24日

兵庫県企画県民部統計課

政策立案等への統計活用について

1 概要

人口減少など社会潮流の変化に対応した政策立案や政策評価等への各種統計データの効果的な活用を図るため、その指標となる統計データの調査、加工分析業務を進める。

2 内容

(1) 経済統計の拡充、分析ツールの作成、拡充

① 四半期別県内GDP速報の試算、拡充（平成21年度～継続）

- ・ 四半期別兵庫県内GDP速報の拡充、検討（雇用者報酬等分配系列の試算、内閣府経済社会総合研究所と連携）
- ・ 県内GDP短期見通しに係るデータの作成、検討（兵庫県立大学地域経済指標研究会と連携）兵庫県立大学政策科学研究所で小地域景気動向指標として公表（平成27年6月、12月、平成28年3月予定）

② 兵庫県民経済計算サテライト勘定の試算、拡充の検討

- ・ 環境経済勘定セントラルフレームワーク（SEEA-CF）の試算、検討
環境経済勘定の国際統計基準で、経済と環境の相互作用を理解し環境資産ストックの蓄積及び変化を説明するための勘定体系を作成するために必要な統計データの検討（平成25年度～27年度、内閣府経済社会総合研究所研究会で試算研究）及び関連データ収集

③ 観光GDP（Gross Domestic Product）の試算、検討

兵庫県内観光産業の経済規模について観光統計の国際基準であるTSA（Tourism Satellite Account）による兵庫県版・県内地域版の試算、検討（産業労働部観光交流課等と連携）

- ・ 兵庫県観光交流課「平成26年度観光動態調査報告書」に概要（兵庫県及び7地域別観光GDP及び経済波及効果）掲載予定（平成28年3月予定）
- ・ 兵庫県観光統計研究会（平成27年度観光庁「観光地域経済見える化推進事業」等により収集したデータをもとに平成23年地域内産業連関表（40部門）を作成、地域別観光消費の経済効果を推計、公表（平成28年3月予定）

④ 経済分析ツールの作成、拡充

- ・ 「平成23年（2011年）兵庫県産業連関表」を活用した経済波及効果推計のための分析ワークシートの拡充検討、提供（公表は平成29年度予定）

(2) 政策立案や政策評価等への統計資料の活用の促進

① 神戸大学大学院経済学研究科との調査研究に関する共同研究（平成24年度～継続）

地域政策統計の分析手法に関する研究を行い、成果をホームページ等で公表する。

- ・ 地域経済圏の産業構造に関する研究（平成24年度～26年度）
地域経済構造分析研究会において平成22年兵庫県内7地域内産業連関表及び7地域間産業連関表（36部門）を作成、経済効果分析ワークシートをHP公表（平成26年10月）
地域産業連関表を用いた事例研究（平成27年度から）
- ・ ミクロデータを用いた地域分析手法に関する研究（平成24年度から）兵庫県ミクロデータ分析研究会で分析手法等について検討

- ② 兵庫県立大学政策科学研究所との共同研究（平成22年度～継続）
地域の現状分析の基礎資料となる人口・経済データ等の調査、地域の経済・社会の分析手法に関する研究を県立大学研究会等において行う。
- ・ 地域別経済動向指標の推計手法の研究（平成22年度から）
 - ・ イベントの経済波及効果推計手法の研究（平成23年度から）
第5回神戸マラソン経済効果調査（平成27年11月15日）（報告書は平成28年4月予定）
「淡路花博2015花みどりフェア」開催に伴う経済効果調査（平成27年9月公表）
- ③ 関西学院大学産業研究所との調査研究に関する共同研究（平成27年度～）
景気動向指数個別指標を用いた基調判断指標の検討について
「兵庫CLI（Composit Leading Index：OECDが作成している景気指標）の試算」
兵庫CLIの試算・検討（平成27年9月から試算、産業研究所ホームページで毎月公表）
※兵庫県と関西学院大学産業研究所との調査研究に関する協力協定締結（平成27年7月15日）